令和5年度　学校評価報告書

学校番号(中02)　長崎市立(　日見中　)学校

1　教育目標

◎校訓：「感動」「創造」「協調」
○学校教育目標「平和で豊かな社会を創る力の志を身につける」

2　学校経営方針

「挨拶・返事・笑顔」日本一の学校を目指し、
①節度ある生活態度と中学生としての品性を身につけさせる。
②基礎基本の学力の定着と、確かな学力の向上を図る。
③自らの生命を守るために、危機予測能力、危機回避能力を身につけさせる。
学校・家庭・地域の信頼構築に取り組み、「日見中学校だからできる」ことを考え、チャレンジする学校

3　重点目標

①表現力の育成と基礎学力の定着
②基本的な生活習慣の確立
③自律と平和希求の精神、健やかな体の育成
④学校・家庭・地域との連携

4　自己評価

領域	項目	質問内容	アンケート結果（肯定的割合・%） 児童生徒	保護者	教職員	分析及び改善策
学校経営	教育目標	教育目標を達成している	91	91	93	教育目標の達成や明るく楽しい雰囲気という項目の結果が良いことから、教育活動が一定の成果を得たと考えられる。一方、校務分掌の在り方や校務縮減等の業務改善については、マイナスイメージが拭えない。校務の見直しやスリム化を目指すことを継続することとしたい。
	学校の雰囲気	明るく楽しい雰囲気である	96	91	93	
	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			77	
	業務の改善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			85	
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	93	79	69	十分とは言えないものの、生徒は挨拶をよくするようになっている。全体的に高めの評価ではあるが、例えば、相談に親身になってくれない、いじめ対策ができていないなど、生徒が助けを求めていても、十分に手を差し伸べることができていない職員とそれを危惧する保護者の存在が見える。定期的または適時の面談や観察・アンケート等による問題の発見を確実にする目や生徒や保護者の心に届く指導や援助ができる生徒指導体制及びその実行力の向上を図りたい。
		挨拶をよくしている	97	73	85	
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	85	80	100	
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	97	86	100	
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	98	88	82	
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	87	93	92	
	特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている	88	82	100	
確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている	96	88	92	分かりやすい授業については、高い割合で達成できているが、学習に困り感のある生徒及びそれに悩む保護者の存在を意識したい。家庭学習の習慣が身に付いていないという自覚は、三者で一致している。家庭学習の習慣付けのためには、生徒に学習の目的をはっきりさせ、そのための生徒自身による自己分析とその対策とその実施及び評価、改善を継続する。
	学習指導・教育課程	わかりやすい授業を行っている	90	79	100	
		家庭学習の習慣が身に付いている	73	64	45	
	キャリア教育	将来の自立に向けて適切に指導している	93	75	92	
		長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである	94			

健やかな体	保健・衛生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	96	84	92	昼休みは、ほとんどの生徒が運動場で活動している。地域のロードレース大会では、受験前の３年生を除くほとんどの生徒が参加して、体力の向上に努めた。衛生管理に関しては保健だよりや掲示物を通して、情報を提供している。食育については、栄養教諭の指導を各学年で実施している。
	体力向上	早寝・早起き・朝ごはん（基本的生活習慣）が身に付いている	73	77	83	
		体力向上に努めている	90	85	75	
	食育	食に関する教育活動を行っている	86	91	83	
信頼される学校	安全管理	児童生徒の安全に気を配っている	95	82	100	コロナ以後も、感染症対策等、健康面に対する安全管理には注意を払ってきた。また、ホームページの更新により、情報の発信に心掛けた。地域のﾍﾞｰﾛﾝ大会やﾛｰﾄﾞﾚｰｽ大会への参加のために土曜授業にすることで、学校全体で取り組むことができた。
	情報提供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる	95	88	100	
	ＰＴＡ・地域との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている	90	89	93	
	職員資質向上	研修が充実し、資質が向上している			92	
教育環境	環境整備	教育環境が充実し、整備されている	85	80	75	安全点検、安全衛生推進会議で、報告があった内容に対しては迅速に対応した。職場環境の改善については、職員の声を聴き、改善や改革を必要に応じて行っている。
	職場環境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる			100	

５ 自己評価のまとめ（成果・課題・対策等）

１【成果について】
- 学校教育目標の達成度が、職員、生徒、保護者ともに90％を超えることができた。また、校務分掌の機能や業務の効率化、職場環境の改善など、昨年度の実績から、20から30ポイント向上したことは成果である。学校教育目標の達成に向けて、全職員で積極的に努力したことが結果を生んだものと考えたい。
- 今年度は、平和学習を中心とした平和キャリア教育が功を奏し、それが教育活動全体を押し上げているという実感がある。
- 職員の研修については、研究指定の効果が見え、昨年度から20ポイント向上した。

２【課題及びその対策について】
- 生徒、保護者、職員が共通して課題と考えている項目は、家庭学習の習慣と、学力の向上である。学習に対する動機付けや、学習指導要領の「思考・判断・表現力」の育成に向け、継続的な指導や援助が必要である。
- 県の研究指定の機会を利用し、「働き方改革」を進めながら、生徒の学力の向上と、業務改革を同時に進めていきたい。

６ 学校関係者評価

- 生徒は、昔に比べおとなしくなっていると思う。おりこうさんで挨拶もよくするという印象。
- 外でよく遊ぶ生徒も多く、日見公園でもよく遊んでいるようである。
- 一方、不登校が増えているようだ。別室登校など、工夫はあるようだが、保護者との連携や学校外のサービスの利用も含め、今後の課題となるようだ。
- 学力が低い原因は何だろうか。授業の在り方か、生徒の問題か、家庭学習の習慣ができていないからなのかが気になった。
- 学力向上のために、個別指導などの充実が必要なようだ。

７ 対策等の見直し（学校関係者評価を受けて）

- 令和５、６年度長崎県教育委員会指定研究「小中高が一体となったふるさと教育推進事業」の充実により、コロナ禍以降の地域との連携を強化し、ふるさとの未来を担う人の育成に努めることとする。ホームページの更新や内容の充実を図るなど、学校の教育活動を積極的に発信するなどして、今後一層の連携を進めていきたい。
- 基本的な生活習慣や学力向上に結び付く家庭での学習習慣の定着については、保護者との連携に加え、小学校との連携も密にしていくことで改善を図ってきたが、まだまだである。今後は、表現力の評価の在り方や具体的な方法の研修などにより、表現力育成を軸にした教育活動を活性化させたい。
- 不登校対策については、職員の研修や指導体制の見直し、サポーターとの連携など、対策を強化していきたい。
- 働き方改革や業務の改善については、教育のあるべき姿や仕事のやりがいなどの理想を念頭に置きつつ、年間計画の見直しなどにより、仕事環境の改善を進めていきたい。